

第6次斜里町総合計画策定委員会 第11回部会長会議 議案

日 時 平成25年9月12日(木) 18:30～
場 所 ゆめホール知床 会議室2

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 報 告

(1) 会議開催結果等【資料1～3】

4. 議 事

(1) 庁内政策会議の開催結果と今後の協議について【資料4～6】

(2) その他

5. 閉 会

<参考資料>

資料1：会議等開催状況

資料2：8/30 部会長会議記録

資料3：山崎先生コメント要旨

資料4：庁内政策会議結果要旨

資料5：今後の作業について

資料6：議会報告書式

第6次斜里町総合計画策定委員会 第11回部会長会議 出席者名簿

◇ 委員 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
委員長	三浦 勝利		
副委員長	門間 哲也		
みどり部会長	下山 誠		
しごと部会長	高橋 秀典		
まちなみ部会長	元木 誠二		
くらし部会長	戎居 桂三		
いきいき部会長	梅村真由美		
まなび部会長	近藤 将人		
ちょうみん部会長	武山 俊一		

◇ 事務局 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
総務部長	北 雅裕		
企画総務課長	馬場 龍哉		
企画係長	河井 謙		
企画係	竹川 彰哲		
企画係	塩 幸也		

◇ オブザーバー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考

◇ 一般傍聴 ◇

所 属	氏 名		備 考

第6次斜里町総合計画策定委員会 会議等開催状況 一覧表

資料 1

H25/9/12 現在

	全体会議等	研修会等	部会長会議	みどり部会	しごと部会	まちなみ部会	くらし部会	いきいき部会	まなび部会	ちょうみん部会
11月	11/30 第1回									
12月			12/26 第1回							
1月	1/23 第2回			1/23 第1回	1/23 第1回	1/23 第1回	1/23 第1回	1/23 第1回	1/23 第1回	1/23 第1回
2月		2/7 研修会	2/7 第2回							
			2/26 第3回	2/18 第2回	2/14 第2回	2/19 第2回	2/13 第2回	2/14 第2回	2/14 第2回	2/13 第2回
3月					3/6 第3回	3/5 第3回		3/8 第4回	3/6 第4回	3/7 第4回
		3/15~ アンケート		3/12 第3回		3/12 第4回				3/19 第5回
				3/25 第4回	3/29 第4回	3/21 第5回	3/25 第4回	3/21 第5回	3/21 第5回	3/29 第6回
4月			4/9 第4回	4/10 第5回				4/4 第6回	4/10 第6回	
	4/23 第3回			4/24 第6回	4/30 第5回		4/16 第6回	4/17 第5回	4/18 第7回	4/12 第7回
5月				5/7 第7回					4/23 第7回	4/23 第8回
			5/14 第5回		5/13 第6回			5/2 第8回	4/24 第8回	5/10 第9回
			5/30 第6回	5/22 第8回	5/24 第7回	5/23 第7回	5/13 第7回	5/16 第9回	5/15 第9回	5/20 第10回
6月			6/7 第7回	6/5 第9回					5/22 第10回	
					6/20 第9回				5/29 第11回	
7月				6/28 第10回	6/27 第10回	6/26 第9回	7/1 第10回	6/5 第9回	6/6 第10回	6/5 第11回
			7/5 第8回							
					7/4 第11回				7/8 第12回	7/2 第13回
8月					7/11 第12回	7/18 第10回				7/8 第14回
				7/22 第11回	7/31 第13回				7/31 第13回	7/17 第15回
9月			8/7 第9回		8/2 第14回	8/6 第11回	8/2 第11回	8/8 第14回		
						8/20 第12回				8/13 第13回
10月			8/30 第10回			8/28 第13回	8/23 第12回		8/22 第14回	8/14 第17回
									8/29 第15回	
11月			9/10 第12回	9/10 第12回	9/5 第15回					
			9/12 第11回			9/11 第14回		9/17 第15回	9/11 第16回	
			9/26 第12回							
			10/10? 第13回							
			11/12? 第14回							

※ セル着色・斜体部は、今後の開催予定。

第 6 次斜里町総合計画策定委員会 第 10 回部会長会議 記録

1. 日 時 平成 25 年 8 月 30 日 (金) 18 : 30～21 : 00
2. 場 所 ゆめホール 会議室 3
3. 出席者 別紙にて
4. 内 容
 - ・アドバイザーの山崎北大大学院長を迎え、議論を行った。
 - ・アドバイザーの助言もあり、成果指標については引き続き部会で議論を行う事とし、現段階では、用いる指標の種類などの制限は設けない事とした。
 - ・政策の重要度については、引き続き部会で議論する事とし、部会議論では単位施策につけるのか、基本施策につけるのか、また順位付けまで行うのかを含めて議論する事となった。
 - ・協働の表現（協働の度合い）については次回会議に議論する事とした。
 - ・計画書における、「現状と課題」「目的・目標」の文字数については、行政委員に修正等を依頼する事とした。
 - ・次回部会長会議は 9/12 (木) 会議室 2、次々回部会長会議は 9/26 (木) 会議室 3 にて開催する事となった。

●会議内容＜要旨＞

1.開会

- ・ 門間副委員長の進行で行われた。

2.委員長挨拶

- ・ 山崎アドバイザーを迎え、中間テストを受けるような気分である。今後のアドバイスを頂きながら議論を進めて行きたい。

3.経過報告

(1) 会議開催結果等

○みどり部会（下山部会長）

- ・ 基本施策整理票は終えているので、前回部会長会議から部会開催していない。今日の議論を受けて部会を開く予定としている。環境基本計画は次回部会で終える予定である。

○しごと部会（高橋部会長）

- ・部会の回数はこなしているが、メンバーが中々そろわない状況が続いている。次回は 9/5 に予定しており、今日の議論結果を持ち帰り議論したいと思っている。

○まちなみ部会（元木部会長）

- ・昨日部会を開催し、作業は終わった。今後、調整箇所等が出てきたら部会を開催する。

○くらし部会（戒居部会長）

- ・8/23 に部会を開催した。単位施策をすべて埋めた。行政 WG で出してもらったものをキャッチボール（もむ作業）しながら議論を行っている。まだ、成果指標・協働の部分が詰め切れていないので今後、行っていく。

○いきいき部会（梅村部会長）

- ・8/8 に部会を開催し、整理票の見直しを行った。成果指標に関して細かく挙がっているが、まだ精査しきれていない。全体的にボリュームがありコンパクトに中々できない。重要度については、まだ議論を行っていない。

○まなび部会（近藤部会長）

- ・前回部会長会議から、部会を 3 回開催した。単位施策整理票が終わった。成果指標については、色々な議論があったが、他部会と統一していきたい。数値化について、学力アップなどの文言を出していいのかという問題も出ていた。

○ちょうみん部会（武山部会長）

- ・8/14 日に部会を開催、議論を行い重要度。指標化を事務局に提出した。

(2) 施策の構築状況と今後のスケジュールについて

事務局より資料 3～資料 6 を使用し説明を行った。

<要旨>

- ・資料 4 については、完成系をイメージできるように作成した。また、資料 4 でわかるように、各部会間で文字数のバラツキが出ている。文字数のバラツキの調整については、行政委員に依頼をかけた調整を行う事とする。「現状と課題」で半ページを上限としたい。単位施策についても、文章量にバラツキがあるので調整を行いたい。
 - ・資料 5 は資料 4 の文字データとなる。
 - ・資料 6 に記載のある通り、9/2～9/9 にかけて、部会案について行政内部の会議で部会別審議が行われる。次回部会長会議を 9/11～13 に開き会議結果を報告したい。
- 質問・意見なし。

4.議 事

(1) 計画の進行管理について

事務局より資料7・資料8用い、説明を行った。

○資料に対する主な質疑＜要旨＞

資料7について

- ・基本施策に対する成果指標なので、個別施策の成果指標を用いるにはなじまないのではないかと。
- ・成果指標を満足度にしてしまうと、アンケート等をしなければ、計れないのではないかと。
→総合計画の為のアンケート、年次別で各項目に関してのアンケートを取ることは可能ではないかと。

○議論に入る前に山崎先生から現状の総合計画や成果指標についてアドバイスをもらう事とした。

成果指標について＜要旨＞

- ・総合計画をつくる中で一番難しいのが成果指標の所である。行政活動の中でベストな「科学的・客観的・絶対的」数値は存在しないので難しい。なので、これまで町民の方々に数値を挙げて説明はできず、「公共の福祉」という言葉のものさしで行ってきた。
- ・多くの自治体は、総合計画は策定したら終わっている。予算や事業に総合計画を用いる自治体も少なかった。
- ・成果指標で大切なのは、ベストではなく **better** なものを用いる事。また、事後的に「町民・議会・行政」で目標を達成できたかをチェックするための指標を設定する事。事業について議論するうえでの、キッカケや目安になるものを指標にすると良い。意識して事業を行う為の数値。
- ・町民・議会・行政で **better** な目標でチェックするのが大切。
- ・指標の探し方は、目標は何を設定するか議論が大切。0 から指標づくりを行うのは大変な労力と時間を要する。行政情報で現存する数値等の中で使えるものを用い設定するのが良いのではないかと。成果指標はあくまでも成果結果を見るためのもの。例えば、ゴミが減る事が目標とすると、ゴミの排出量。また、定期的に指数を計れるのであれば、満足度を成果指標に設定しても良い。成果指標は、具体的な数値でもいいし、満足度でもいい。どちらでもいいし、どちらも良い。
- ・既存データで使えるものがあれば、使うのが **better** である。具体的な数値で振り返れるものが良い。
- ・施策の性格によって、全ての行政施策が単一的数値であらわせないものもある。
- ・施策のポジションによっても指標の種類も変わってくる。例えば、町の単独事業（単費）なのか、国の施策によって補助金で行っているものなのか、また、その時の財政状況によっても変わってくるものであると、議論を行ってもらい **better** な成果指標を設定して欲しい。
- ・大切なのは、3年後、5年後等でチェックして納得できる成果指標を掲げている事。今後は他自治体の事例を見て議論する事も良い。
- ・芽室町は毎年町民委員を集めて点検作業（事業成果チェック）を行っている。毎年やるのが良いのかはその自治体の状況などに合わせて行う事が良い。芽室の成果指標は「景観満足度」・

「太陽光発電量」など様々であり2種類の成果指標を用いている。

協働の表現について<要旨>

- ・協働の度合の表現であるが、弟子屈町で行っているが総合計画に表しているのは弟子屈町だけではないかと思う。点検作業の際に使いやすいと思えばつけても良いし、いなければ総合計画に表さなくても良いと思う。

重要度（重点施策 等）について<要旨>

- ・重要度については、割合や個数を別として、行った方が良い。点検作業の時全ての施策を同じレベルで行っても良いが、重要度（重点施策 等）があればその施策について重点的に点検できる。何が大切かを事後的に点検できる事は大切である。

○議論内容<要旨>

ー1) 成果指標について

○みどり部会

- ・環境基本計画は具体的な成果指標の数値を立てているが、事業を行う際に行政も目標を立てているのにまた目標を設定するのかという議論もあった。また、町民にわかりやすい数値は満足度ではないかとの意見もあった。また基本施策の成果指標を具体的な数値を挙げる事は出来るが、個別政策の成果指標を挙げる事になると思う。その際に、基本施策の成果指標として挙げたときに矛盾が生じる場合もある。

→事後的にチェックできる成果指標を挙げる事が大切である。満足度が up down したときの要因を探ることを町民・議会・行政で行う事が重要であり、その際の議論のきっかけとなるような成果指標を用いる事が重要。

毎年調査を行うかどうかの問題であるが、行うのであれば成果指標として満足度は適しているのではないか。(山崎先生)

→行政の持っているデータと満足度を組み合わせて、成果指標とするのが良いのではないか。成果指標全て満足度とするのではなく、具体的な数値も盛り込んでほしい。

○しごと部会

- ・成果指標を出す事（具体的数値）は出来るが、しごと部会では産業を受け持っているので指標は満足度や幸福度とは次元が違う数値が出てくると思うので疑問が残るのは確かである。産業の主な指標と言えば、利潤や金額である。今後、成果指標を議論していく事としている。

○まちなみ部会

- ・受け持っているものがハード的なモノが多いので数値化はしやすかったイメージがある。

○くらし部会

- ・除雪の分野の成果指標は満足度を用いる事は困難であると判断した。雪が多い年は除雪に関して町民は不満に思うし、少ない年の満足度は上がると思う。成果指標は「除雪の効率化」

等にした。議論の中で、除雪機器の更新にしようかとの議論にもなったが、町民の立場ではそれが良い事なのかどうかの判断がつかなかった。Better な数値設定が難しい。

→例えば、冬季の交通事故数とかもあるが、除雪が要因となるかは疑問である。芽室町は満足度で成果指標としている。(山崎先生)

・除雪に関しては、掛けるお金次第で満足度は変わってくると思う。(除雪・排雪頻度)

○いきいき部会

・成果指標は病院では医師数・病床数は数値にした。

・また、相談件数が増える事が良い事なのか等の判断が難しい項目もあった。

→増える事は良い事ではない見方もできる。望ましい社会になる為の数値を設ける。見方を変えるのも方法である。例えば、健康の人の割合など。芽室では相談支援件数 up 要介護認定率を横這いなど、全てが満足度、望ましい社会状態で表せられない項目もある。(山崎先生)

→無理に数値化できないものまでする必要はないのではないかと。全て満足度に頼るのもどうかと思う。

→大切なのは進行管理、事後点検なので町民が見て解りやすいもの、町民が関われるものが良いのではないかと。

→何のための指標なのかを考えて、外部からチェック出来るもの、追跡可能な定点観測できるものが良いと思う。評価指標がコロコロ変わるのは好ましくないが。(山崎先生)

○まなび部会

・成果指標に満足度を用いると矛盾が出てしまう場合もあった。例えば、学校給食のアンケートで実際に食べていない人が回答しているケースがある。

→調査時の工夫が必要である。不特定多数ではなく特定多数回答の調査が適している項目ではある。(山崎先生)

→回答者の設問の捉え方次第である。分析が出来ない設問になる可能性も有る。先生も言っていたようにターゲットを絞った調査も必要になってくると思う。

○ちょうみん部会

・7-1-1 は重要項目に位置づけている。成果指標は数値化できるものはしており、出来ないものは設定していない。

→7-1-4 の成果指標のふるさと納税の件数は良いのではないかと。例えば、姉妹都市等の認識率なども資料として成立するのではないかと。(山崎先生)

・7-1-3 は大切な項目(協働)であるが、全ての項目(他部会も含む)に関わる項目なので常に意識して欲しいので数値化はしていない。

→他の自治体は、自治会行事等への参加率や協働事業の参加率などを挙げている。(山崎先生)

→部会で議論になったが、見送った経緯がある。

→2) 町民参加・協働について

※山崎先生のアドバイスもあり再度事務局にて精査を行い、計画に盛り込むかどうかまた、どのような形が良いかを検討する事とした。

ー3) 重要度について

・優先度の決め方が大切である。

→優先度の決め方は各自治体でそれぞれである。やり方として、全ての中で何個という決め方もある。芽室町では後期計画で重点項目が消えていた。(山崎先生)

→総合計画にのっているものは全て重要である。優劣をつけるのは難しいのではないか。町民の意向として時間軸での優先度は決める事は出来る。

→町民の意見としてつける事は良いと思う。点検の際に実行した、未実行の目安になる。

→未実行の時の説明が行政として重要になってくる。(山崎)

・優先度なのか重要度なのか。

→計画に載っているものは重要でないものは無いので、重要度は難しい。ハード事業において優先度はつきやすいが、ソフト事業はつけにくいのではないか。

議論の結果、優先順位、重要度の順位付けを行うかどうか、個別施策につけるかなど、どこにつけるのかも含めて部会で議論してもらう事とした。

(2) その他

ー1) 計画の活用について

山崎先生より、計画の活用についてアドバイスを頂く事とした。

<要旨>

- ・成果指標は外部からチェックできるように、具体的でシンプルなものが良い。
- ・毎年の予算が総合計画に連動する事、関連が見えるように町長のトップマネジメントが重要になってくる。計画を活かすことにつながる。
- ・定期的に施策の成果・進捗状況などを公開し広報などで伝える事が重要。
- ・行政の内部評価は形骸化しやすく、審議会などの外部組織を入れている自治体もある。芽室町などがそうである。何年毎にやるかはそれぞれ自治体の better な時期がよい。例えば、札幌は内部評価とは別に外部 5 人で特定の分野を議論している。(山崎先生も 5 人の中に含まれている) また、無作為抽出で 100 人の市民を集めて事業に対するワークショップも行っている。方法は色々あるが外の目を入れる事が大切。ベストはないので better なやり方を模索して実行する事が重要。

○質疑

・外部評価＝議会でもあるが、議会とは別に機関を持っている自治体が多いのか。

→議会がまさにチェック機能を持っているが、総合計画にそこまでチェック出来ない議会が多いと思う。議会がチェック機能を果たしていれば別組織は不要である。斜里町には自治基本条例もあるので、条例の検証組織、計画の検証組織の 2 本立てで行うのが理想ではないか。

(山崎先生)

- ・進行管理の方法を計画に書き込んでいる自治体はあるか。

→計画自体に記述している自治体事例は知らない。多くは条例（総合計画に関する条例）に記述している所が多い。

ー2) 今後の会議日程について

- ・次回部会長会議を行政内部審議後に行う事とし 9/12（木）に開催

- ・次々回部会長会議を 9/26（木）に開催

5.閉会

閉会にあたり、山崎先生から一言頂く事とした。

<要旨>

- ・総合計画が形としてだんだん見えてきているので、もうひと踏ん張り頑張ってもらいたい。基本条例策定から総合計画策定につながって策定している自治体の事例はあまりないのでもうひと踏ん張りして、良い計画を策定して欲しい。

以上
(21 : 00 終了)

第6次斜里町総合計画策定委員会 第10回部会長会議 出席者名簿

◇ 委員 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
委員長	三浦 勝利	○	
副委員長	門間 哲也	○	
みどり部会長	下山 誠	○	
しごと部会長	高橋 秀典	○	
まちなみ部会長	元木 誠二	○	
くらし部会長	戎居 桂三	○	
いきいき部会長	梅村真由美	○	
まなび部会長	近藤 将人	○	
ちょうみん部会長	武山 俊一	○	

◇ アドバイザー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
北海道大学公共政策大学院 院長／教授	山崎 幹根	○	

◇ 事務局 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
総務部長	北 雅裕	○	
企画総務課長	馬場 龍哉	○	
企画係長	河井 謙	○	
企画係	竹川 彰哲	○	
企画係	塩 幸也	○	

◇ オブザーバー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
産業部長	村上 俊行	○	

◇ 一般傍聴 ◇

所 属	氏 名		備 考

総合計画の成果指標に関する山崎先生のコメント（要旨）

- 総合計画を策定するにあたり、多くの市町村が最も頭を悩ませているのが成果指標である。
- なぜ難しいかといえば、行政活動には、民間企業でいうところの「利潤」に相当するものがなく、科学的・客観的・絶対的な指標が存在しないからである。目的や質、量が違う多種多様な分野があり、また社会的、経済的、政治的な影響を受けてしまうため、統一的な価値基準が設けられず、正解や「ベスト」といえるものがないということでもある。これまでは、強いていえば「公共の福祉」という言葉のものさしで判断されてきた。
- しかし、だからといって、何の指標もなくともよいかといえば、そうではない。かつて策定した総合計画が、その後どうなっただろうか。精力的に策定しても作りっぱなしになり、予算に反映されず十分に活用されないことも多いのが実態でもある。
- なぜ活用されないかといえば、外部の人がチェックするための仕組みが備わっていないからである。チェックするためには、やはり何らかの指標が必要である。
- 指標づくりにあたってまず大事なのが、「ベスト」なものはないという前提で、「ベター」な指標を求めようとするところである。
- そして、指標の最大の目的は、町民・議会・行政それぞれが計画の進捗状況をチェックできるようにし、その結果を共有できるようにすることにある。正確には、チェックできる「きっかけ」を作ることでもある。
- 従って、指標は、施策について考え、議論するためのきっかけになりやすいものがよい。成果を意識しながら施策を実行するための数値でもある。町民・議会・行政が、ベターな指標を使って、チェックしていこうということである。
- では、実際にどのような指標を設けるかであるが、ゼロから指標を作るのは、大変な労力・時間・コストがかかるので、現存する行政情報の中で使えるものを用いるのがよい。また、定期的にデータをとれる見込みがあるのであれば、アンケートを用いた満足度でもよいだろう。統計的データでもアンケートデータでも、「どちらでもよいし、どちらもよい」。
- 大切なのは、3年後、5年後に、きちんとチェック可能な「数値」であることであり、具体的でシンプルであること。その方が、皆で考えやすくなる。他の自治体の設定事例を参考にするのもよい。

今後の作業について

1. 基本施策の記載について

- 計画書の形式が概ね固まり、かつ全部会の記載状況を確認したことを受けて、基本施策の記載について、次のとおりとさせていただきます。
- **「現状と課題」と「目的・目標」をあわせて、約 400～600 字**（1 行 29 文字なので、約 14～20 行。項目名を含まない。）**を目安**としてください。
- 「目的・目標」よりも「現状と課題」の文字量が多くなるようにし、**「目的・目標」は比較的簡潔な記載**を心がけて下さい。
- **「単位施策の内容」は、約 40～120 文字（1 行 25 文字なので、約 2～5 行）を目安**として下さい。
- 「現状と課題」、「目的・目標」、「単位施策の内容」は、いずれも箇条書きではなく、文章表記をお願いします。
- **文体は、ですます調**をお願いします。

2. 成果指標について

- **成果指標は、1つの基本施策に対して、1～3つを目安に必ず設定**して下さい。（できるだけ複数の方が望ましい。）
- 成果指標は、厳密な意味で基本施策そのものを測定するものでなくても構いません。（例えば、1-1-1「自然環境の保全と適正利用の推進」という基本施策であれば、その基本施策そのものの成果を測る指標は想定し難い。）
- どのような指標が良いとは一概には言えませんが、基本施策を象徴したり代表したりするような**既存のデータの活用**をまず考え、あるいは**アンケート調査**の実施を念頭において満足度を測定することを提案しても構いません。但し、実行したか・しなかったか、という**行政活動そのものの実施状況を示すものは設定しない**でください。＜良い例：〇〇量、〇〇率、〇〇件数、〇〇の割合、〇〇者数、〇〇の面積＞
＜悪い例：〇〇の実施の有無、〇〇の向上・抑制・充実・増加・解消、〇〇状況＞
- **もしどのような指標を設定してよいか、どうしても思いつかない場合には、事務局までご相談下さい**。他市町の事例をご紹介します。

3. 作業スケジュールについて

- 庁内拡大政策会議の結果は、みどり、いきいき、まなび、まちなみの 4 部会は、資料 4 のとおりです。
 - その他の部会（しごと、くらし、ちょうみん）の結果は、まとめ次第、データを送信します。
 - 9 月定例議会の論議結果は、9/26 の部会長会議でお示しします。
 - 以上を踏まえて、**「現状と課題」、「目的・目標」、「単位施策内容」、「成果指標」の 4 項目について、部会内で検討（修正または反論）していただき、10 月 8 日までに事務局まで報告をお願いします。**
 - 「町民参加・協働」や、「重要度・優先度」を含む進行管理全般については、改めて議題としますので、しばらくお待ち下さい。
- ※ 拡大政策会議での議論状況を踏まえると、10 月末の成案化が非常に困難な状況となっています。再延長する場合のスケジュールを 9 月議会において議会と調整する予定としていますので、この結果も 9/26 の部会長会議で報告いたします。

L4：政策 【1-1】人と自然が共生する豊かな環境づくりの推進

L5：基本施策		L6：単位施策	
施策名	施策の目的・目標	施策名	施策内容
【1-1-1】 自然環境の保全と適正利用の推進	世界自然遺産をはじめとする本町の多様な自然環境の保全と適正な利用を図り、その価値を次世代に継承します。	100平方メートル運動の推進	「100平方メートル運動の森・トラスト」を推進し、国立公園内開拓跡地の自然を再生する取り組みを進めます。
		自然環境の保全	世界自然遺産地域に代表される原生的な自然環境、身近な緑や水辺など、自然の固有性や地域特性に応じた適切な保全対策を進めます。
		国立公園内利用適正化の推進	質の高い自然体験機会の提供と持続可能な利用を図るための仕組みの構築及び必要な施設整備を進めます。
【1-1-2】 野生生物の保護管理の推進	野生生物の適正な個体群の維持存続と希少種の保護育成を図る。また、外来種対策を進めるとともに、野生生物と地域住民の生活、産業との軋轢を軽減し、共存を目指します。	野生生物保護管理対策の推進	ヒグマ・エゾシカをはじめとする野生生物の保護管理の取り組みを推進します。また、生態系に影響を及ぼすおそれのある特定外来生物の効率的な被害対策を進めます。
		調査研究活動の推進	野生生物の保護管理を進めるため、生息状況や生態等に関する調査研究、モニタリング活動を進めます。
		野生生物との共存のための普及啓発の推進	野生生物への不適切な接触を防止するための人の利用の適正な誘導や、餌やりの防止など野生生物との付き合い方のマナーに関する普及啓発を進めます。
【1-1-3】 水・大気環境の保全	水・大気環境を良好な状態に保つことにより、町民の健康の保護及び生活環境の保全を目指します。	公害対策	公害の発生を未然に防ぐため、自然環境の推移の把握に努め、公害が発生する可能性のある施設の監視、監督、指導を実施し、必要に応じて公害防止協定を締結します。また通報には迅速に対応します。
		水環境の保全	水源地域や河畔林の保全など、水源から河口までの流域全体を対象とした河川の総合的な保全に努め、心豊かな生活のための水の重要性についての普及啓発に取り組みます。